

◎グラケールカプセル [内]

【重要度】 【一般製剤名】 メナテトレノン Menatetrenone 【分類】 ビタミン K2 剤

【単位】 ◎15mg/Cap

【常用量】 45mg/日

【用法】 分3

【透析患者への投与方法】 常用量 (5)

【その他の報告】 低回転骨には有効. HD 患者に 45mg/day の投与で、投与後 Glu-OC は非投与群に比し有意に低下し Gla-OC は VK2 投与後経時的に上昇した (透析会誌 34: 237-242, 2001)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 常用量 (5)

【特徴】 骨芽細胞を活性化させ、骨形成を促進し骨代謝回転を高め、また破骨細胞の分化誘導を抑制して破骨細胞形成を抑制し、さらに破骨細胞の骨吸収能を抑制し、骨粗鬆症の骨代謝の不均衡を改善する. オステオカルシン (OC) は 2~3 個の Gla 残基を有しており、これらはヒドロキシアパタイト (HA) 中のカルシウム結合部位として骨石灰化に重要な働きをしている. Gla 化されていない OC は HA と結合できないため VK は OC の Gla 化を介して骨代謝に重要な働きを示す.

【主な副作用・毒性】 胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢、腹痛、消化不良、発疹、発赤、掻痒、頭痛、肝障害、BUN 上昇など

【吸収】 空腹時投与で吸収が低下、また、吸収は食事時の脂肪含有量に応じて増大 (1) 上部小腸で胆汁存在下により吸収されるがエネルギーを要する吸収であり、飽和現象が認められる。10~63%および 80%~という説がある (11) 主としてリンパ系を介して吸収 (1)

【F】 17.5% [対ケイツー注] (1) 初回通過効果を受けない (11)

【tmax】 4.7±1.5hr (1)

【代謝】 側鎖末端の酸化とそれにひきつづく β 酸化による代謝と推測 (1) 代謝物に活性なし (1)

【排泄】 代謝物として主に胆汁排泄される (11) 尿中未変化体排泄率 0% (1) 糞便中に未変化体として 14.9%排泄 (1)

【CL/F】 295.9±58.5mL/min [po] (1)

【t1/2】 3.9±1.0hr (1) α相: 0.2~0.22hr、β相: 平均 2.2hr (1.2~3.5hr) (11) 【ke】 0.194±0.073/hr (1)

【蛋白結合率】 97.0±0.16% (1)

【Vd】 2~9L/man [平均 3.5L/man] (11)

【MW】 444.66

【透析性】 蛋白結合率が高いため、透析で除去されにくいと思われる (5)

【TDM のポイント】 TDM の対象にはならない 【O/W 係数】 高い (11) 資料なし (1)

【相互作用】 ワルファリンカリウムの作用を減弱させるため併用禁忌 (1)

【備考】 VK の 1 日必要量は 1 μg/kg 以下 (11)

【更新日】 20240120

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。